

## 市民ワークショップを開催しました

「旧佐川邸の公園化を考える会」では、近隣住民アンケートをふまえて作成した公園計画案のもとに、令和3年9月から12月にかけて3回にわたって、ランドスケープの専門家の協力のもと市民ワークショップを行いました。

### 1 第1回ワークショップ(9月19日)

ワークショップ全体の流れ、これまでの経緯、計画地に関する条件等の説明の後、現地の確認を行いました(写真)。

その上で、3つのグループに分かれて、公園のテーマ、どんな公園にしたいか、計画案についての意見、公園に必要なもの・あるといいもの等について検討しました。



### 2 第2回ワークショップ(10月23日)

小平市からの「ふるさと納税」についての説明と質疑応答、第1回ワークショップの振り返り、身近な公園事例の紹介の後、2つのグループに分かれて、公園整備に向けた課題、計画案に加えて具体的に必要なもの、災害時に必要なもの、みんなで使うためのルールづくり、公園の維持管理等について検討しました(写真)。



### 3 第3回ワークショップ(12月11日)

「ふるさと納税」についての経過報告、第2回ワークショップの振り返り、身近な公園における試みの事例紹介の後、参加者全員で、計画案についての意見、公園整備のあり方、完成後の維持管理・活用の関わり方、みんなで使うためのルール等について検討し、3回のワークショップのとりまとめを行いました(写真)。



ワークショップを経て作成した整備計画案について、ワークショップ報告会(令和4年1月16日)と近隣住民意見交換会(同年3月26日)で頂いたご意見も反映した次ページの整備計画案を、令和4年6月に小平市に提出しました。

## 【整備計画案】(令和4年6月提出)



## 【公園コンセプト】

### 「こちよく、しなやかさのある公園」

※住民の心身の健康を支え、生きものに良好な環境を持ち、柔軟な利用ができる公園

#### ① 住民に親しまれ、誰もが気軽に訪れることができる地域コミュニティの拠点とする。

##### 【ワークショップでの意見】

- ・ 野鳥が来る自然豊かな公園にしてほしい
- ・ 暑い日などに休める日陰や多目的の広場を作ってほしい
- ・ 住民が使える掲示板や倉庫を設置してほしい

#### ② 合気の聖地として、佐川先生の思いを知ってもらおう。

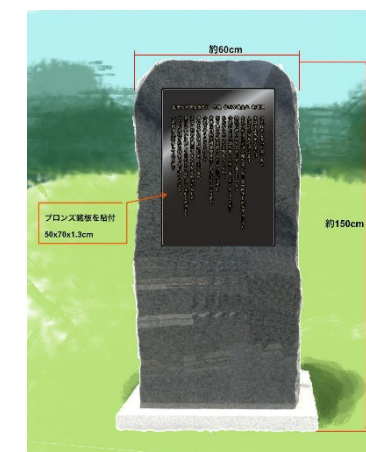
##### 【ワークショップでの意見】

- ・ 道場のあった場所が分かるような石を設置してほしい
- ・ 佐川先生が道場で座られていた場所に顕彰碑を置きたい(右図：顕彰碑案の例)
- ・ 公園の由来や道場の場所等を案内板に表記してほしい

#### ③ 防犯・防災機能を持ち、安心・安全に利用できる。

##### 【ワークショップでの意見】

- ・ 防犯のため見通しを良くして明るい夜間照明を設置してほしい
- ・ 災害時に生活用水を確保できるように災害用井戸(右写真：他公園の例)を設置してほしい
- ・ 防災倉庫、防災ベンチを設置してほしい



## 近隣住民アンケート結果

公園計画案について、近隣の皆様へのアンケートを令和3年2月に実施したところ、124通のご回答がありました。

### 問1-1 計画案について、どのような施設が必要と思われるですか？【複数可】

①草地広場	73	⑥パーゴラ	60	⑪防災倉庫	57
②旧佐川邸の庭を残した日本庭園	58	⑦花壇	46	⑫災害用井戸	71
③水のある池	28	⑧バリアフリーの通路	61	⑬夜間照明	85
④案内板	41	⑨水飲み・手洗い	75	⑭その他	12
⑤テーブル・ベンチ	68	⑩柵・フェンス	37		

### 計画案で無くてもいいと思われる施設等があれば教えてください。【複数可】

①草地広場	4	⑥パーゴラ	9	⑪防災倉庫	6
②旧佐川邸の庭を残した日本庭園	10	⑦花壇	13	⑫災害用井戸	6
③水のある池	39	⑧バリアフリーの通路	3	⑬夜間照明	2
④案内板	10	⑨水飲み・手洗い	5	⑭その他	1
⑤テーブル・ベンチ	8	⑩柵・フェンス	9		

### 問1-2 公園ができたならどのような目的で利用されますか？【複数可】

①休憩	42	④人に会う	9	⑦ストレッチ・体操等の軽運動	17
②飲食	6	⑤景色鑑賞	19	⑧ピクニック	7
③散策	66	⑥花・木・生物観察	28	⑨その他	9

### 問1-3 公園ができたならどのくらいの頻度で利用しますか？

①ほぼ毎日	10	③週1回程度	33	⑤利用しない	13
②週2～3日程度	20	④月1回程度	32		

### 問2-1 ふだんから気軽に利用する場合に、何があると良いですか？【複数可】

①住民が集まれるスペース	18	⑤樹木などの緑	55
②体が動かせる広場	33	⑥日本庭園風の池	18
③休憩ができる施設 (テーブル・ベンチ)	61	⑦災害時に対応できる施設	55
④子供が遊べる遊具	33	⑧その他	6

### 問2-2 計画案以外に、あったらいいなと思われる施設があれば教えてください【複数可】

①子供の遊具	17	⑧駐輪場	21
②健康トレーニング器具	8	⑨多機能トイレ	21
③多目的な活動広場	10	⑩日陰を作ってくれる高木	20
④屋根付休憩所	18	⑪季節の草花や実のなる木	26
⑤災害時の避難場所となる広場	19	⑫住民が整備管理する花壇・畑	8
⑥防災施設(防災ベンチ等)	22	⑬その他	5
⑦防犯カメラ	43		

## 佐川道場跡地の公園化のための佐川先生に関する説明

令和3年1月 木村達雄 (大東流合気佐門会理事長・筑波大学名誉教授)

佐川幸義先生を一言で言えば、日本の武術家です。しかし佐川先生の武術は力を使わず敵の力を消してしまう特殊な武術です。

普通、戦うには相手よりも自分の力が強くなければ負けまです。鍛え続けて世界チャンピオンになるほど強くなった人間ですら、老いれば若者に敵わなくなるのが現実です。しかし佐川先生の合気は力が不要のため、肉体が弱り老人になっても、力のある強い若者に負けることがないのです。

### 【合気武術の歴史的な話】

合気柔術は、日本で昔から知られていた柔術や柔道とは全く異なる系統の武術で、

武田惣角先生(万延元年生まれ、昭和18年没)が大東流(だいつりゅう)合気柔術として全国を廻って教えて世間に広まっていった。

「合気道」の創始者の植芝盛平翁も大正4年から昭和6年までの十六年間に亘り武田惣角先生の指導を受けた。

佐川幸義先生は1902年生まれで、武田惣角先生が佐川家に2年ほど滞在していた時、10歳頃から武田先生の指導を受け始めた。

昭和29年には、武田惣角先生の息子の武田時宗氏らの推薦で、佐川先生が武田惣角先生のあとを正式に継いで宗家になった。

昭和30年からは小平市の自宅に正伝大東流合気武術・総本部道場(佐川道場)を開いたが、昭和31年に武田時宗氏から「やはり宗家は親から息子にゆくべき」との要望に従い、世間に出て名声を上げる道を選ばず、ひたすら「深遠な合気の探求」に生涯を捧げた。

### 【私の体験】

私、木村は中学3年の時に、植芝盛平翁に出会い合気道入門、その後5段になり、アメリカ・ドイツ・フランスなどで合気道の指導をしたのですが、ある時、抵抗する大きな外人を倒せなくて「本当の日本武術はこんな筈はない！」とすごく悔しい思いをしました。

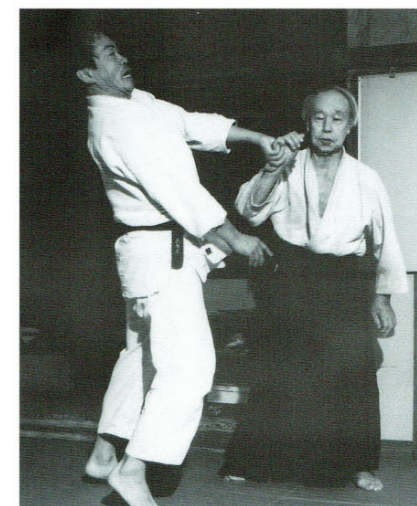
帰国後、本物の武術家を求めて色々な道場を訪ねて、佐川先生に出会う事が出来ました。

そのとき佐川先生は76才でしたが、初対面の時に、どんなに力いっぱい抵抗しても一瞬で倒されてしまいました。こんな事が出来る先生がこの世に実在するとはとても信じ難く、更に、これほど次元が違う凄い先生が、名前も知られずに、ひっそりと修行されていることにも驚きを禁じ得ませんでした。

この不思議な技を可能にしているのが「合気」と言われる何かであるとの事でした。

「合気は相手の力を抜いてしまう技術だから、年齢がいても相手が強くても出来るのだ」とも言われました。その後も佐川先生の合気は留まることなく進化を続け、どんどん迫力や技の鋭さも増していきました。87才の時に心筋梗塞で1ヶ月、東大病院に入院されましたが、退院したその日に私をバシーンと投げ「これで合気が力ではないことが分かったでしょう」と言われ、門人達は目を丸くして驚いていました。

そして95才で亡くなる前日、背広で正装して道場に現れた先生に、3回すさまじい勢いで畳に叩きつけられ、3回とも受身もとれず頭から畳に突っ込んでしまったのです。余りの凄さに翌日先生が亡くなられたと報告を受けたとき、「まさか・・・」と信じられない思いでした。



### 【佐川先生の言葉】

○ 絶対にこれで良いとか、このまま行けば良いと思っはいけない。そう思った途端に進歩が止まる。人間に完全ということはありません。どんな段階に達しても必ずその上の段階があるのだ。常に新しいことを工夫していくのだ。頭を使え。

○ 教えてすぐ出来るようなものは大したものではない。長い間の努力・訓練・工夫・研究によって少しずつ出来るようになるのです。

### 【佐川先生遺稿より】

合気とは気を合わすと訓ず。気は宇宙天地の気なり。合気の妙用は、天地森羅万象一切に合一同化し融和するにあり。然れば我に対する敵は更になきものなり。此の境地に幽没するよう心を治め、気を練り、体を鍛えるが合気の練成なり。合気心に至れば、我なく人なく生もなく死もまた無し。あたかも無人の広野を行くが如く空々無々万物の変動たちどころに心写し。身体は円融無碍変転自在にして尽きることなし。合気は争う事を不致。暴なる者には自然に出て空の合気天地自然の妙法にてその攻勢を無依ならしめ・・・

参考文献 [1] 津本陽「深淵の色は 佐川幸義伝」実業の日本社(2018)  
[2] 木村達雄「透明な力(不世出の武術家 佐川幸義)」講談社(1995、第17刷 2014、現在は絶版)  
[3] 木村達雄「新版 合気修得への道(佐川幸義先生に就いた二十年)」どう出版(2018)